第17号　城岳同窓会　平成23年12月10日

城岳報

第１回世界のナハコーンチュ大会を開催

平成23年10月13日～16日まで開催された「第５回世界のウチナーンチュ大会」参加者の中から那覇高校卒業者を母校へお招きして、次代を担う生徒達と「第８回城岳講座」の一環として異世代・異文化の交流を10月13日（木）に那覇高校で行われ、全クラスに於いて先輩から後輩への力強いメッセージが伝えられました。

12カ国、21人の沖縄県人会長へＥメールを送信しましたところ、カナダ、マレーシアから３人ずつ、ワシントンから２人、香港、ハワイ、カリフォルニアから１人ずつの合計11人が参加の申込みをしました。

しかし、来沖しているにも拘わらず、皆さんの日程調整がなかなか上手くいかず、当日の参加者はワシントンから真栄城美枝子さん（那覇高８期生）とお嬢様の万里 Allenさん、マレーシアから宮城洋子さん（那覇高27期生）と旦那様のJohn Kuna Rajさんとお嬢様のAlissa Jeyam Rajさん、５人の方々が海外からの参加者でした。

ワシントン２人とマレーシア３人の二組に分かれ、卒業して40年余の時を感じさせない、後輩達への力強いメッセージに対して、生徒達はキラキラと瞳を輝かせながら熱心に聴きいっていました。

母校の見事な変容を60年ぶりに訪れた真栄城さんは、お嬢さんのAllenさんに対して、自分

の青春時代を感慨深げに話されている様子を見ると、時空を超えた感じがしました。

また、参加できなかった方々からは帰国後、「せっかく沖縄へ来たのに参加出来なくてとても残念です。次回は必ず参加します。」や、「第６回世界のウチナーンチュ大会へは是非とも参加して、母校を訪れたい。」等々メールが沢山届きました。

今回の「第１回世界のナハコーンチュ大会」を企画して、世界中の那覇高校卒業生のネットワーク作りの必要性を強く感じました。今後は毎年10月頃来沖される「世界のナハコーンチュ」を母校へお招きして、後輩達との交流する機会を作りたいと思います。

将来的には現役の生徒２人を選考して、世界でトップクラスの大学を２週間程度、同窓生のもとでホームステイしながら直に体験させたいと思います。

また、その体験をした中から、50年後ないし100年後には沖縄県及び日本国の政治・経済・教育・文化のリーダーを育成すると同時に、ノーベル賞への挑戦、国連やユネスコの要職を目指すことを祈念したいと思います。（與儀幸英）

活躍する同窓生

●日本語教育に奔走した

ハワイ大学名誉教授　聖田京子さん（那覇高９期生）

旧姓・大城、名護市出身。1968年ハワイに渡りハワイ大学で日本語教育に取り組んだ。ハワイ日本語教師会長、ハワイ外国語教師会長も務めた。現在は沖縄コミュニティーでボランティア講師を務める。

●大震災を乗り越えて

東北大学副学長　里見　進さん（那覇高20期生）

那覇市出身。国費留学で東北大学医学部に入学。以来、東北で根を下ろし、移植外科の専門として数々の手術を執刀した。東日本大震災当時は東北大学病院で病院長として、災害対策本部を設置し、自ら本部長となり災害対策に奔走した。2012年４月に東北大学総長に就任する。

＜同窓生消息＞

〇…那覇高32期の前泊博盛は、2011年４月に沖縄国際大学教授に就任した。27年間勤めた琉球新報記者からの転職。最後の役職は論説委員長。近著に『沖縄と米軍基地』。

〇…那覇高17期の國吉和男は、長年、県工業試験場などに勤務。2011年３月「金属疲労に関する研究」で琉球大学から博士（工学）の学位を授与された。「65歳の博士号」で新聞の話題になった。

〇…関西城岳同窓会の中心メンバーだった20期の與儀雅康は、2009年12月、兵庫県から沖縄県に移住する直前、急逝した。その蔵書3800冊が遺族によって沖縄県立博物館へ寄贈された。

〇…元沖縄県立中部病院長で、那覇高２期の真栄城優夫は、沖縄県の医療向上に尽くした功績で2011年度の琉球新報賞を受賞した。本土復帰前の琉球政府立中部病院で米国式の臨床研修制度導入に際し中心的な役割を果たし、極度の医師不足の緩和に尽力。同制度は若手医師の育成、医療水準の向上にもつながり、国の研修制度のモデルになった。

ご あ い さ つ

城岳同窓会会長
那高７期　源 河 徳 博

平成23年度城岳同窓会総会において会長へ就任致しました。微力ながら会員各位のご協力、ご理解をいただいて、同窓会活動を推進したいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

同窓会の目的は母校への教育支援と会員相互の交流でありますが、同窓会の諸事業に献身的なご尽力をいただき感謝致しています。

昨年は母校が二中・那覇高校創立100周年を迎えました。記念式典・祝賀会には県知事仲井真弘多氏（10期）、県教育長金武正八郎氏、那覇市長翁長雄志氏（22期）をはじめ那覇高校職員、同PTA会員、同後援会員、城岳同窓会員など約1000人の方々が出席し、祝賀会を盛り上げていただき、新装の体育館はあふれんばかりの盛況でありました。

記念事業の募金目標は100周年にふさわしい、一億円に定めましたが、昨今の経済不況にもかかわらず、目標額の７割強を達成し、事業を成功させることができました。ご協力に感謝申し上げます。

記念事業は母校の教育施設・設備の充実、奨学金への活用、さらに記念誌の発行などに使わせていただきました。

つぎに、同窓会の今年度の大きな事業をご紹介致します。

５月は同窓会の総会・懇親会が行われました。懇親会実行委員会は毎年卒業30年目にあたる期の同朋たちが結束して企画し、運営しています。今年は34期の皆さまでした。ご苦労さまでした。

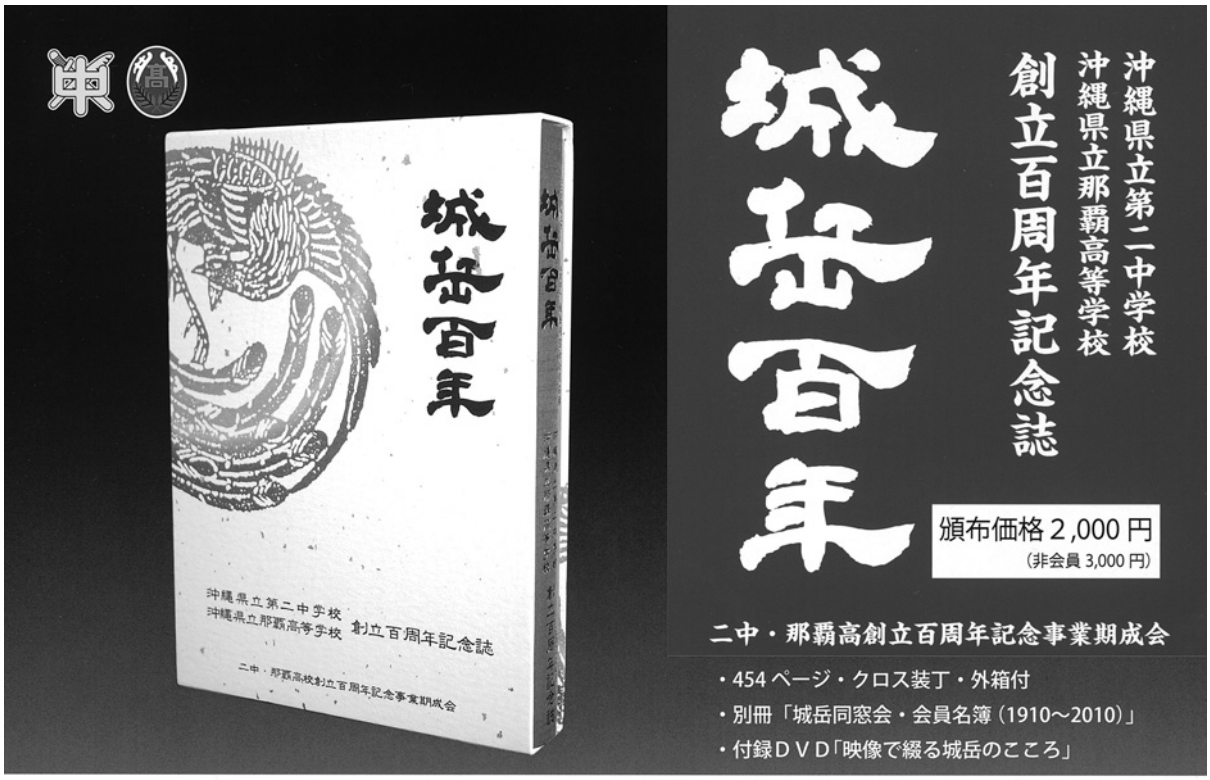
６月23日、県内は「慰霊の日」で各地で慰霊祭が行われていますが、同窓会では「二中健児の搭慰霊祭」を城岳公園で行っています。

11月は那覇高校、城岳同窓会、首里高校、養秀同窓会共催で「第12回首里高校・那覇高校スポーツ対抗試合」が首里高校体育館及び沖縄セルラースタジアム那覇球場で開催しました。首里高校・那覇高校は昨年それぞれ130周年、100周年を迎えたが、沖縄戦以前は一中・二中は兄弟校でありライバル校であって、切磋琢磨してお互いに飛躍して、有望な人材を世に送り出しました。二中・那覇高校創立80周年記念誌に二中の大先輩が次のように書いています。「97年前の当時は学業も、スポーツも常に一中が競争校で追いつ、追われつの状況であったが、対抗意識を燃やして励んだことが、お互いに良い刺激と向上になったと思っている。また当時はスポーツの中では野球が人気があって、一中と二中は毎学期野球の試合を行っていた。」したがって両校の野球の対抗試合は97年の長い歴史をもつ行事であります。

おわりになりますが、今後とも母校の発展のため同窓会活動を推進していきたいと思いますので、会員の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

沖縄県立第二中学校
沖縄県立那覇高等学校

創立百周年記念誌『城岳百年』発刊！



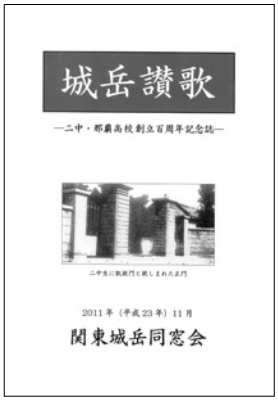
お問い合わせ先：社団法人城岳同窓会事務局（098－867-2525）
※『城岳百年』は部数限定の発売となっております。ご購入はお早めに！

「誤人、脱人おわび」の記

「校正おそるべし」―。目を皿のようにして、何度も校正をしたつもりでも結果、間違えれば、すべては水の泡。記念誌でも、発行後、いろいろな注文が寄せられた。中でも2,000人余の人物を紹介した「城岳の群星－二中・那覇高人物群像」には、「あれが載っていない」「これは卒業生でない」などのご指摘があった。誤字、脱字ならぬ誤人、脱人である。それだけ丁寧に読んでいただいた証しで、記念誌委員会としても感謝したい。とりあえず判明分を訂正します。今後ともミスを発見次第、同窓会事務局にお連絡下さい。（記念誌委員会一同）

76頁　「表紙を飾った那覇高生」で峰井有子さん（12期）は、15期に訂正。
143頁　与那覇恵子さんが25期とあるのは24期に訂正。（伊良波）は削除。
164頁　豊岡春子さんの肩書き「元校長」は削除。
175頁　人物群像「県議会」に「15期浦崎唯昭」を追加。
177頁２段15行　新垣雄久さんの昭和18年卒は「入学」に訂正。
214頁２段17行　大城圭子さんが「県更生保護女性連盟会長」とあるのは削除。同会長は２期生の大城恵子さんでした。
215頁下段３行目　「同期の高江洲義寛～」は削除。
217頁「那覇高卒医師名簿29期」に「大城秀巳」を追加。
313頁　寄付者御芳名で「27期平良勉」は「21期」。「25期水谷滋彦」は「水谷多津子」に訂正。
「会員名簿」60頁　３年８組に「宮城民子」を追加。

※なお、2011年４月に山田實（二中22期）、大城立裕（二中29期）のお二人から寄附がありました。

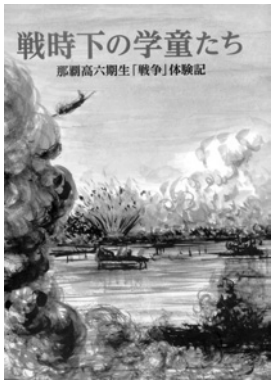


関東城岳同窓会『城岳讃歌』発刊！

関東城岳同窓会より二中･那覇高校百周年を祝して記念誌『城岳讃歌』（Ｂ５判、234ページ）を発行されました。関東城岳同窓会は平成22年が創設60周年の記念の節目でもありました。

内容は「第一部　関東城岳同窓会の歩み」「第二部　思い出の記」「第三部　校史探訪・語り継ぎたい物語」の三部構成。特別寄稿や先輩たちを含め60人余の方々の寄稿がそれぞれの思い出が綴られた一冊。

那覇高６期生「戦争」体験記『戦時下の学童たち』発刊！



十・十空襲、対馬丸遭難、学童疎開、沖縄地上戦、外地引揚げ…
「世紀の嵐」を乗り越え生きて来た琉球政府立那覇高等学校６期生（昭和28年卒業、当時国民学校４～５年生）が66年の時を経て、いま、初めて伝える「私たちの戦争」。
そして、知ってほしい平和を願う「沖縄のこころ」を！（本書オビより）
編集発行：琉球政府立那覇高等学校６期生（昭和28年卒）
戦争体験記発行委員会／定価1600円（税込）

同窓会便り

関東城岳同窓会

源河徳博城岳同窓会新会長、南秀同窓会（宮古高校）の会長他70名余が出席し霞ヶ関・東海クラブで盛大に開催された。今年は改選期にあたり、山路安清会長、比嘉良智事務局長が10年以上のお務めを終え、真栄田修（８期）氏が新会長に就任し新体制がスタートした。また、創立記念誌「城岳讃歌」が末永く愛読されることを祈念します。

第24回関西城岳同窓会（2011年11月19日）

前日までの紅葉狩りに適した秋日和から一転、朝からどしゃ降りの雨で開催時には小ぬか雨に変わった難波御堂筋に面したロイヤルホスト特別室に、遠路沖縄より源河城岳同窓会新会長をお迎えし開催いたしました。

第14期生　卒業50周年同期会（2011年８月10日）

参加人数は、県外からの12名を含む93名。卒業以来50年ぶりに会う方もいらしたようです。タレントの魅川憲一郎さんをゲストに招き、大変盛り上がったとの事です。先日、幹事の石倉さんより剰余金の寄付が同窓会にありました。

平成23年度の主な事業計画

今年度の主な事業は下記の通りである。

平成23年	４月15日	平成22年度会計監査
	４月19日	平成23年度理事会
	４月21日	平成23年度評議員会
	５月21日	平成23年度総会並びに懇親会 （ハーバービューホテル・クラウンプラザ）
	６月２日	第１回理事会
	６月12日	城岳同窓会主催二中前通りクリーン大作戦
	６月23日	二中健児の塔慰霊祭
	９月１日	会報17号発行
	10月16日	第１回世界のナハコーンチュ大会・城岳講座
	11月20日	第12回那覇高校・首里高校スポーツ対抗戦
平成24年	３月22日	第２回理事会

事務局だより

同窓会の活動は会員の入会金1,000円、年会費1,000円または終身会員5,000円及び諸寄付金によって賄われております。現在終身会費の納入状況は各期によって差があります。是非加入なされ、本同窓会発展のためにご協力下さいますようお願いします。

伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展のため、同窓生一人ひとりが積極的に関わっていただきまして、ご芳志を賜りますようお願い致します。

振　込　先　琉球銀行泊支店　店番号306　口座番号　普通78142
口座名義人　社団法人城岳同窓会　会長　源河徳博（ゲンカノリヒロ）
問い合わせ　城岳同窓会事務局　與儀幸英（TEL098-867-2525）

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成８年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん!!ご利用下さい。

・２階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及び同窓会事務所
・３階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。
・４階は自学自習室として、生徒が活用しています。

なお、使用料金（光熱費）は１団体：１時間800円です。

総会並びに懇親会

5月21日　ハーバービューホテル・クラウンプラザ

城岳同窓会主催二中前通りクリーン大作戦

6月12日

二中健児の塔慰霊祭

6月23日

城岳同窓会Ａ氏奨学生決まる

同窓生Ａ氏による奨学金寄付を基金とした城岳同窓生の奨学金制度。平成21年３月卒業生より募集を開始した。

〈平成23年度Ａ氏奨学生〉

写真左から

砂川　彩香：同志社大学経済学部経済学科

嘉数　南　：沖縄国際大学産業情報学部
企業システム学科

上原　小春：沖縄国際大学総合文化学部
心理カウンセリング学科

※奨学金の額

県内は年額240,000円

県外は年額480,000円

※給与期間は１年間

那覇高校ニュース

平成23年度入学生生徒数は生徒数は男子229名、女子211名、合計440名。

〈部活動〉（九州大会出場など）

●囲碁同好会

第26回　全九州高等学校囲碁選手権大会　準優勝　大城裕太郎

●ボクシング部

第65回全九州高等学校ボクシング競技大会（６月19日）

　ライトウェルター級　第２位（金城大明）

全国高校総合体育大会　ボクシング競技（８月15日）

　ライトウェルター級　第２位（金城大明）

●剣道部

全九州高等学校体育大会剣道競技（７月10日）　女子団体　第３位

●放送部

第58回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト（７月28日）

　ラジオドキュメント部門　制作奨励賞

　アナウンス部門　入賞（５位）　福歩

●自然科学部

第35回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表（地学）（８月５日）

文化連盟賞

●書道部

第10回岐阜女子大学全国書道展（８月８日）

　奨励賞（城間小彩）優秀賞（末吉理沙、池宮芹紀）秀作賞（比嘉佳美、伊良皆香）

　努力賞（新里優利）

●吹奏楽部

第66回九州合唱コンクール（９月９日）　銅賞

2011日本管楽合奏コンテスト（本戦）（10月29日）　高等学校Ｂ部門　最優秀賞

●水泳部

平成23年度　全九州高等学校選手権新人水泳競技大会（10月８日～９日）

女子　総合５位

城岳同窓会ホームページ

http://www.jogaku.or.jp

城岳同窓会会報

編集発行　城岳同窓会　〒900－0014 沖縄県那覇市松尾１－21－53　電話・FAX 098－867－2525

E-mail：yogi@jogaku.or.jp